

やまきたヘルパーネットワーク 定例会 記録

場所：zoom 日時：12月15日（金）10：30～12：00

出席事業所 (敬称略)	<p>(居宅)</p> <p>訪問介護ありがとう（熊越氏）、ヘルパーステーションきづな（風早氏） 居宅介護わくわく（竹内氏）、相談支援事業所ふうよう（山本氏、トミカワ氏、オギノ氏） 支援センターらくとう（中村氏） ヘルパーステーションそらいろ（中野、好川、河野）</p>
記録	<p>司会：中野（そらいろ）</p> <p>1. あいさつ、動作確認 中野(そらいろ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍前から行っていたネットワークの活動を再開させている。 ・ 対面開催では時間を作って参加する事が難しいと思い、オンライン開催を企画。 ・ 通信環境に問題ないか？ →問題なし。(全員) <p>2. 参加者自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市、沖縄市からの参加あり。 ・ 山城北圏域以外からの参加もあり、嬉しく思っている。(中野) <p>3. 事例発表</p> <p>① 事例発表</p> <p>【知的障害の方の地域生活を重度訪問介護を使って支えるという選択肢について】 支援センターらくとう 中村嘉男氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙資料の通り発表 <p>【質問】</p> <p>Q：重度訪問介護で支援に入るメリットは何だと考えるか？（竹内氏） A：長い時間の見守りの対応ができること。居宅介護のように短時間の支援のぶつ切りにならないところだと思う。(中村氏)</p> <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 城陽市や宇治市では知的障害の方で重度訪問介護利用で支援しているケースを知らない。 ・ 宇治市では6～7年前くらいに重度訪問介護の初めてのケースがあったように記憶している。対応できる事業所が見つからず、京都市内の事業所を利用されていたような感じ。 ・ 沖縄市では重度訪問介護利用者は26名ほど。少しずつ増えてきている。沖縄市の人口は13万人程度。 <p>4. 連絡事項</p>

・今後の活動予定

・ 次回は2月頃の開催は、どうですか？（竹内氏）

→準備期間がタイトかなと。（中野）

→年度末も忙しいと思うので、4月頃で検討（竹内氏、中野）